報道関係各位

平成 29 年 6 月 14 日
日 本 製 紙 連 合 会

応募者全員にノート進呈！入賞者には豪華な副賞も！

「第 14 回手づくり絵はがきコンクール」作品募集のお知らせ

応募締切：平成 29 年 9 月 11 日（月）当日必着

日本製紙連合会は、小学生を対象に、牛乳パックなどを一度パルプ液に戻してから抄いた紙に「夏休みの思い出」を描いたオリジナルの絵はがきを募集する「手づくり絵はがきコンクール」を開催致します。

当コンクールは、資源を有効活用する「紙のリサイクル」体験を通じて、次世代を担う小学生に資源循環型産業である製紙産業を知ってもらうと共に、「紙への親しみ」並びに「リサイクル活動への興味」を育んでもらうことを目的に、平成 16 年より開催しており、本年で 14 回目を迎えます。

学校では、リサイクルを学ぶ単元の授業の一環として、またご家庭では夏休みの自由研究などで取り組まれており、毎年全国から多数のご応募をいただいています。

応募者全員にオリジナルノートを進呈し、団体の部、個人の部、各部の最優秀賞を受賞した方々には、表彰式を執り行ないます。

コンテストの概要につきましては、次ページをご参照ください。

前回（第 13 回）団体の部 最優秀賞
富士市立青葉台小学校 4 年生児童（当時）
（静岡県）

前回（第 13 回）個人の部 最優秀作品
上藤幸歩さん 3 年生（当時）
（徳島県）

本件に関する問い合わせ先：手づくり絵はがきコンクール事務局
日本製紙連合会総務・広報部（秋山、上村、加藤）
TEL:03-3248-4801 FAX:03-3248-4826

牛乳パックからはがきを作って、夏休みの思い出を絵はがきにしよう！
身近な紙からリサイクルを体験しよう！

第14回 手づくり絵はがきコンクール

日本製紙連合会は、子どもたちに紙への関心を高めてもらうとともに紙のリサイクルを身をもって体験してもらうことを目的に当コンクールを開催しています。
夏休みの自由課題として、ふるってご参加ください。

作品募集

小学生に限ります。

募集テーマ：**「夏休みの思い出」**をテーマに絵を描いてください。
応募条件：牛乳パックなどをほぐして、紙すきしたハガキサイズの紙に、手描きで描いてください。画材は絵の具、クレヨンなどいずれも使用可能です。
※応募作品は1人1点とし、未発表のオリジナル作品に限ります。
締め切り：**平成29年9月11日(月)当日必着**
募集部門：団体の部…クラス単位、学年単位、学校単位などで応募
個人の部…個人単位で応募 ※なお、団体の部で応募された個々の作品は、個人の部でも審査されます。
募集宛先：(株)インタープレス　手づくり絵はがき係　〒104-0031　東京都中央区京橋1-17-2　昭美京橋ビル
応募方法：**ホームページにある応募用紙に必要事項を記入の上、作品と一緒に郵送してください。**
審　　査：日本製紙連合会　広報委員会
結果発表：日本製紙連合会ホームページに12月中旬掲載予定です。

参加賞
応募者全員にペーパー君の「オリジナルノート」を進呈します。

賞について：
団体の部／最優秀賞　1団体　賞状および図書カード10万円分
優 秀 賞　2団体　賞状および図書カード　5万円分
特 別 賞　5団体　賞状および図書カード　1万円分
参 加 賞／ペーパー君「オリジナルノート」　応募者全員

個人の部／最優秀賞　1名　賞状および図書カード3万円分
優 秀 賞　6名　賞状および図書カード1万円分
※個人の部優秀賞は各学年1名
特 別 賞　10名　賞状および図書カード3千円分

第13回 個人の部 入賞作品

※入賞作品の一部です。
他作品はホームページをご覧ください。

第13回 団体の部 表彰式

受賞の喜びは、みんなの記憶に残る記念日になります。

◎最優秀賞に選ばれた団体、個人の方への表彰は、事務局が現地に行って表彰式を実施します。表彰式の模様ならびに一部入賞作品は、来年2月発行の週刊文春（広告ページ）に掲載を予定しています。

お問い合わせ先 >>> 手づくり絵はがきコンクール事務局（日本製紙連合会　総務・広報部）　TEL：03-3248-4801
ホームページ：http://www.jpa.gr.jp

牛乳パックからのはがきの作り方

作り方は、HP動画でも見られるよ！　http://www.jpa.gr.jp/about/pr/concour.html

用意するもの

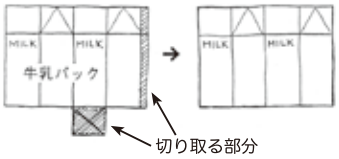
- 牛乳パック・カッター・バケツ・なべ・ざる
- 水・台所用中性洗剤・ミキサー・アイロン
- 家庭用塩素系漂白剤・ふきん（または、タオル）・まな板
- 木製のわく２コ（たて 15cm、よこ 10cm、高さ 3cm）
- 金網（網が細かく、わくより一回り大きいもの）

※間にはさむ網は、昆虫採集用の網、蚊帳、筆巻き、寿司用のすだれなどを使用します。

パルプ液の作り方

1. パックを開いて切る

〈目的〉パルプになりにくいところをとりのぞく
①よく洗ってから開く。
②紙が２枚になっているところを切り取る。
③なべに入れやすいよう適当なサイズに切る。



2. 中性洗剤で煮る

〈目的〉パックを柔らかくする
①なべに、水１リットルに台所用中性洗剤を小さじ２杯の割合で加えたものを用意する。
②パックを入れて 30 分～１時間煮る。
※火の扱いに注意する
③これを半日間放置する。
④水でよく洗う。
※なべが汚れるおそれがあります

3. 漂白剤につける

〈目的〉紙の中の薬品を分解する
①ポリバケツに、１リットルの水に家庭用塩素系漂白剤を小さじ２杯の割合で加えたものを用意する。
②パックがよくひたるように入れる。
※有毒ガスが発生するので加熱しないこと
③一晩放置する。
④パックの表面にあるフィルムを取り除き、ざるに入れてよく洗う。

4. パルプをほぐす

〈目的〉パルプ繊維をバラバラにする
①水をかけながらもむと、繊維が簡単にバラバラになる。
②ミキサーで撹拌する。適当に水を加えてよく撹拌できるようにする。繊維のかたまりが無いようにするのが、なめらかな表面の紙にするポイント。

5. パルプ液を作る

〈目的〉ハガキを作るのに適当な濃度（濃さ）にする
①バラバラにした繊維を適当な濃度のパルプ液になるように水でうすめる。その目安として、放置すると繊維が下にしずみ、上ずみができるくらい。または、すきわくに 600 ～ 700ml 入れるとよい厚さの紙になる。
②紙すきするときは十分にまぜて使うこと。
③すぐに使わないときは、金網のざるで水をしぼり、ポリ袋に入れて冷蔵庫にしまっておく。（腐敗防止）

“繊維”とは小さくて細長い形をしていて、紙を破ったときにヒゲのように見えるもの。
“パルプ”とは繊維がたくさん集まったものをいいます。

紙のすき方（作り方）

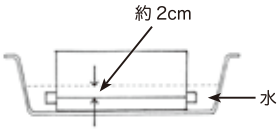
1. すきわくをセットする

①上わくと下わくの間に網をはさみ、わくを組合わせる。

※間にはさむ網は、昆虫採集用の網、蚊帳、筆巻き寿司用のすだれなどを使用します。

2. 水槽に入れる

①適当な容器に水を入れる。
水の深さは上わくが約 2cm ひたるくらい。

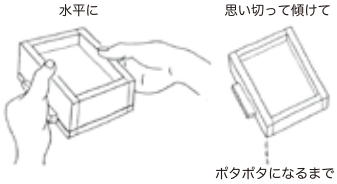


3. パルプ液を入れる

①すきわくを手でしっかり押さえて、600 ～ 700ml のパルプ液をあふれないようにして入れる。パルプ液の量でハガキの厚さが決まる。
②パルプ濃度にムラがあるようなら棒でかきまぜる。

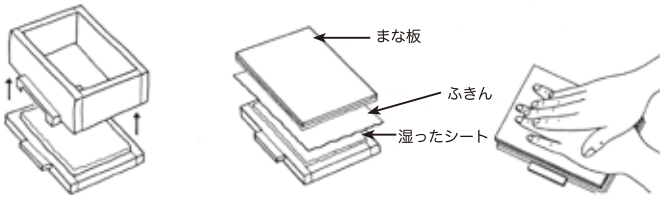
4. すきわくを持ち上げる

①すきわくを水槽から水平に持ち上げる。
②水がある程度抜けてパルプが動かなくなったら、すきわくを傾けて、水がポタポタ落ちるくらいになるまで水を切る。



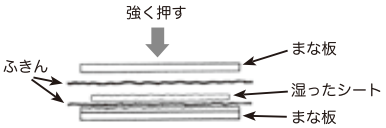
5. 上わくをはずし、ふきんとまな板をのせて水をしぼる

①上わくを上に持ち上げてはずす。
②ふきんを湿ったシートがこわれないようにかぶせる。
③まな板をかぶせる。
④まな板を押して水をしぼる。



6. ひっくり返して、ふきんとまな板をのせて強く押す

①まな板といっしょに下わくをひっくり返す。（下わくが上になる）
②下わくと網をとりはずす。
③この上にふきんとまな板をかぶせる。
④まな板の上からできるだけ強く押して、水をしぼり出す。



7. 新聞紙で水を吸い取る

①ふきんにはさんだままで、湿ったシートを取り出す。
②３～４枚重ねた新聞紙にはさむ。
③平らなところに置いて、まな板をのせて強く押す。
④新聞紙を取り替えて、２～３回くり返す。湿ったシートはふきんをはずしても手で扱えるようになってくる。

8. アイロンなどで乾かす

①アイロンで乾かす。アイロンの端が湿ったシートにくい込まないよう最初はゆっくりかけること。
②アイロン用スプレーのりを使用するとニジミ防止になる。
③アイロンのかけ方で紙表面のなめらかさが違ってくることに注意。
※板やガラスなどに張り付けて自然乾燥する方法もある。

注意：プリント機器等での印刷は、プリンターが壊れる恐れがあるため、使用しないでください。

保護者の皆様、学校の先生方へ

牛乳パックからはがきを作る際には、漂白剤や熱湯を使用しますので必ずお子さんに付き添っていただきますよう、お願い申し上げます。

【個人情報の取り扱いについて】

お預かりした個人情報は、手づくり絵はがきコンクール事務局（日本製紙連合会）にて厳重に管理し、児童並びに応募責任者（保護者・教諭）への各種連絡、参加賞・賞状・副賞を発送する際に使用させていただきます。また応募作品並びに表彰式の模様は、日本製紙連合会の広告・宣伝の為に使用させていただく場合がございます（日本製紙連合会ホームページへの掲載等）。その他応募者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはございません（法令等により開示を求められた場合を除く）。なお、お預かりしました個人情報は、作品の返送、賞状・副賞、参加賞の発送後、一定期間保管し、破棄させていただきます。

注意事項　作品保護のため、必ず厚紙などを入れて郵送してください。
12月上旬をめどに、参加賞の進呈および作品を返却します。（団体応募の場合は、代表者へ返却します）

協力：公益財団法人 紙の博物館　http://www.papermuseum.jp